

広島市植物公園 見どころ案内

コショウノキ

(ジンチョウゲ科)

白い花が咲いています。沈丁花に似た花で、よい香りがします。初夏に真赤な実をつけます。

ミツマタ

(ジンチョウゲ科)

中国原産。黄色い花が咲き始めています。枝が三つに分かれて出ることからこの名がつけました。昔は、紙の原料として使われていました。

ユキワリイチゲ

(キンポウゲ科)

清楚な淡紫色の花を咲かせました。天気の良い昼間に開花し、曇天の日には閉じています。春を告げる植物の一つです。

ウメ‘藤牡丹枝垂れ’

(バラ科)

枝垂れた樹形から、鯉が龍になった中国の伝説にちなんで「登龍梅」の愛称で親しまれています。

薄桃色八重の花がほぼ満開です。池の左の「八重寒紅」、右の「冬至」も咲いています。

ススキノキ

(ススキノキ科)

当園では 25 年ぶりの開花です。2本の黒い穂が出ています。オーストラリアの乾燥地に生える植物で、成長は非常に遅く、現地では山火事に耐えて他の植物に先駆けて花を咲かせます。

大温室改修のため 休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

カワヅザクラ

(バラ科)

カンヒザクラとオオシマザクラの交雑種といわれ、淡紅色の花が満開です。名前の由来になった静岡県河津町では既に開花しています。

ハンギング

バスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。パンジー、コニファー、オカメツタ、シロタエギクなどを使っています。

[日本ハンギングバスケット協会
ハンギングバスケットマスター作]

ウメ

(バラ科)

ウメ園の40品種 130本余りの花が見ごろです。紅、桃色など、華やかに咲いています。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

百数十株の園芸品種を植栽。白、緑、紅など、見事にガクが色づき、八重咲きもあります。

草木染の世界展

～4月6日(木)まで

いろいろな草や木を使った染色方法や芸術的展示をお楽しみください。共催:広島草木染の会

[展示資料館1階展示室にて]

